

## 海域火山の最近の活動について \*

### The Recent Activities of Submarine Volcanoes and Volcanic Islands

海上保安庁  
Japan Coast Guard

前回（第141回火山噴火予知連絡会）に報告した以後（2018年6月15日から2018年10月31日）の活動状況は以下のとおりである。（調査位置は第1図参照）

#### 南方諸島方面

場 所	年 月 日	調 査 機 関 等	活 動 状 況
青ヶ島	2018/7/30	海上保安庁	青ヶ島北部の神子様付近に黄褐色～緑色の変色水域が幅約100m、長さ約400mで分布していた（第2図）。
明神礁	2018/7/18	海上保安庁	変色水、気泡、浮遊物等の特異事象は認められなかった。
明神礁	2018/7/30	海上保安庁	変色水、気泡、海水面の低温部、浮遊物等の特異事象は認められなかった。
明神礁	2018/9/28	第三管区 海上保安本部	変色水、気泡、海水面の低温部、浮遊物等の特異事象は認められなかった。
明神礁	2018/10/23	第三管区 海上保安本部	変色水、気泡、海水面の低温部、浮遊物等の特異事象は認められなかった。
伊豆鳥島	2018/7/30	海上保安庁	伊豆鳥島南岸の三ツ石から燕埼の間に青白色～褐色の変色水域が幅約150m、長さ約300mで分布していた（第3図）。伊豆鳥島北東の北ノ鼻付近に薄黄緑色の変色水域が幅約100m、長さ約100mで分布していた（第4図）。
西之島	2018/7/12	第三管区 海上保安本部	火砕丘東外斜面中腹で噴火が発生し、灰色の噴煙が上がっていた。 西之島の沿岸全周に薄い黄緑色の変色水域が幅約50-200mで分布していた（第5図）。 熱画像では火砕丘の東斜面中腹に周囲よりも高温の領域が認められるとともに、火砕丘の麓を越える程度の範囲まで高温の噴出物を認めた。
西之島	2018/7/13	第三管区 海上保安本部	火砕丘の東斜面に形成された新火口で噴火が発生し、灰色の噴煙が火口縁上約600mまで上がっていた（第6図）。 西之島の沿岸全周に薄い黄緑色の変色水域が幅約50～200mで分布していた。

\* 2018年11月15日受付

場 所	年 月 日	調 査 機 関 等	活 動 状 況
			熱画像では火砕丘の東斜面中腹に周囲よりも高温の領域が認められるとともに、火砕丘の東側山麓に長さ約200mの溶岩流が認められる（第7図）。
西之島	2018/7/14	海上保安庁	<p>火砕丘東外斜面中腹の新火口で噴火が継続しており、20秒から3分弱の間隔で小規模な爆発的噴火を繰り返しており、火砕丘中央火口縁上約100mまで灰色の噴煙が上がっていた。</p> <p>西之島北岸に青白～黄緑色の変色水域が幅約300～500mで分布していた。</p> <p>13日に確認された火砕丘東側山麓の溶岩流は、二条の溶岩流になり13日より南に前進しているのが認められたが、先端は海まで達しておらず、海岸線での水蒸気の発生も認められない。</p>
西之島	2018/7/18	海上保安庁	<p>火砕丘東外斜面中腹の新火口で噴火が継続しており、灰白色の噴煙が火砕丘中央火口縁上約200mまで上がっていた。また、青紫色の火山ガスの連続的な放出が認められた。火砕丘中央火口内壁東側の噴気活動は従前と比べて活発な状況が認められた。</p> <p>西之島北及び東岸に青白～黄緑色の変色水域が幅約200～500mで分布していた。</p> <p>火砕丘山麓の溶岩流は13日に比べて長さが約400m延伸しており、海岸線まで約200mの地点に達している。</p>
西之島	2018/7/30	海上保安庁	<p>火砕丘中央火口及び火砕丘東外斜面中腹の火口からの噴火は認められなかったが、火砕丘東外斜面中腹の火口からは薄い青紫色のガスの放出が続いていた（第8図）。</p> <p>西之島北西から東岸にかけて青白～黄白色の変色水域が幅約500～800mで分布していた。</p> <p>火砕丘山麓の溶岩流は温度が低下し、海岸線から約100mの地点で止まっており、海への流入は認められなかった（第9図）。</p>
西之島	2018/8/1	第三管区 海上保安本部	火砕丘中央火口及び火砕丘東外斜面中腹の火口からの噴火は認められなかった。
西之島	2018/8/18	第三管区 海上保安本部	<p>火砕丘中央火口及び火砕丘東外斜面中腹の火口からの噴火は認められなかった。</p> <p>火砕丘中央の火口内東壁から白色噴気が放出されていた。</p> <p>天候不良のため変色水については確認できなかった。</p>

場 所	年 月 日	調 査 機 関 等	活 動 状 況
西之島	2018/9/28	第三管区 海上保安本部	<p>火砕丘中央の火口及び東外斜面中腹の新たな火口からの噴火は確認できなかった。</p> <p>火砕丘中央の火口内壁から白色噴気が放出されていた。</p> <p>西之島沿岸全周に幅50mの薄い青白色の変色水域を確認した。</p> <p>西之島の南方約3海里に薄い青白色の変色水域を確認した。</p> <p>火砕丘山麓の溶岩流は7月30日と大きな変化はなかった。</p>
西之島	2018/10/23	第三管区 海上保安本部	<p>火砕丘中央火口の火口縁及び火口内壁から微小な白色噴気が放出されていた(第10図)。</p> <p>西之島沿岸全周に幅約100~300mの青白色の変色水域が分布していた(第11図)。</p> <p>北東岸の変色水域は北東方向に幅約200m、長さ約600mにわたって分布していた(第11図)。</p> <p>9月28日に確認された、南方の変色水域は存在しなかった。</p> <p>火砕丘山麓の溶岩流は9月28日と大きな変化はなかった。</p>
硫黄島	2018/7/18	海上保安庁	<p>硫黄島西部にある阿蘇台陥没孔からは白色噴気が連続的に放出されていたが、旧噴火口(ミリオンダラーホール)からは噴気の放出等の特異事象は認められなかった(第12図)。</p> <p>釜岩南東側の海岸から、黄緑色の変色水域が幅約100m、長さ約1000mで分布していた(第12図)。</p> <p>硫黄島南岸の翁浜に黄緑色の変色水域が幅約200mから300m、長さ約2000mで分布していた(第13図)。</p> <p>硫黄島北東岸の金剛岩と離岩の中間位置、離岩付近及び離岩から北ノ鼻への海岸沿い(3ヶ所)で白色噴気が放出されていた(第14図)。また、離岩周辺に黄緑色の変色水域が幅約600m、長さ約1000mで分布しており、北ノ鼻の北側に黄褐色の変色水域が幅約500m、長さ約800mで分布していた(第15図)。</p>
御蔵島	2018/7/18	海上保安庁	変色水域等の特異事象なし。
八丈島	2018/7/18	海上保安庁	変色水域等の特異事象なし。

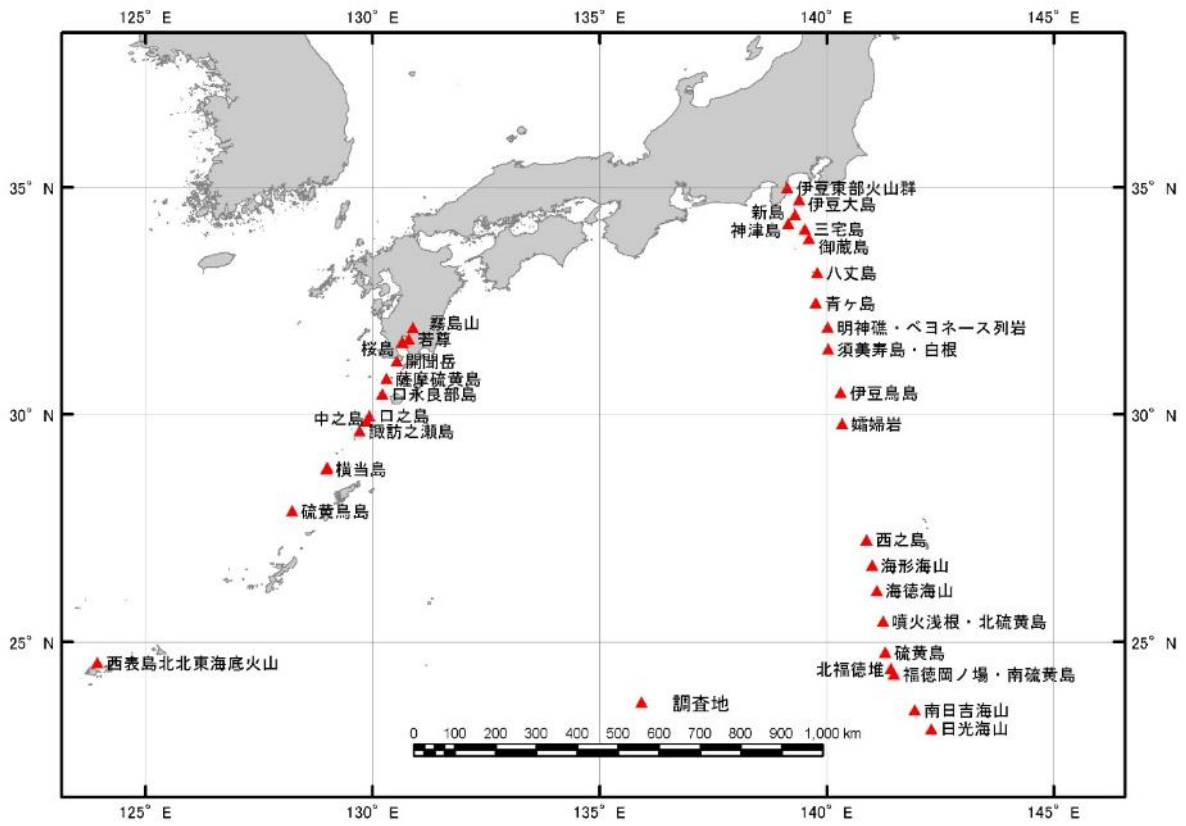
場 所	年 月 日	調 査 機 関 等	活 動 状 況
ベヨネース列岩	2018/7/18	海上保安庁	変色水域等の特異事象なし。
ベヨネース列岩	2018/7/30	海上保安庁	変色水域等の特異事象なし。
白根	2018/7/18	海上保安庁	変色水域等の特異事象なし。
須美寿島	2018/7/18	海上保安庁	変色水域等の特異事象なし。
孀婦岩	2018/7/18	海上保安庁	変色水域等の特異事象なし。
海形海山	2018/7/18	海上保安庁	変色水域等の特異事象なし。
海徳海山	2018/7/18	海上保安庁	変色水域等の特異事象なし。
噴火浅根	2018/7/18	海上保安庁	変色水域等の特異事象なし。
北硫黄島	2018/7/18	海上保安庁	北硫黄島北東部に青白色の変色水域が幅約150m、長さ約300mで分布していた(第16図)。
北福德堆	2018/7/18	海上保安庁	変色水域等の特異事象なし。
福德岡ノ場	2018/7/18	海上保安庁	変色水域等の特異事象なし。
南日吉海山	2018/7/18	海上保安庁	変色水域等の特異事象なし。
日光海山	2018/7/18	海上保安庁	変色水域等の特異事象なし。

南西諸島方面

場 所	年 月 日	調 査 機 関 等	活 動 状 況
桜島	2018/7/9	第十管区 海上保安本部	昭和火口内に白色の噴気が認められた。火口底には茶褐色の水溜りが認められた。 南岳A火口及びB火口内は、白色の噴気及び水蒸気に覆われており火口底は視認できなかった。
薩摩硫黄島	2018/7/9	第十管区 海上保安本部	硫黄島港内全域に茶褐色の変色水域が分布していた。 磯松崎東部に茶褐色の変色水域が幅約50m、長さ約250mで分布していた。 稲村岳南東に茶褐色の変色水域が幅約40m、長さ約100mで分布していた。 東温泉に黄緑色の変色水域が幅約50m、長さ約100mで分布していた。 天狗鼻東部に黄緑色の変色水域が幅約50m、長さ約200mで分布していた。 硫黄岳南東山腹から白色の噴気の放出が認められた。 硫黄岳南東から平家城跡東部の海岸線沿いに黄褐色～茶褐色の変色水域が幅約100mで分布していた。 平家城跡付近に白色及び黄褐色の変色水域が幅約100～200m、長さ約1400mで分布していた。 山頂付近は雲のため視認できなかった。

場 所	年 月 日	調 査 機 関 等	活 動 状 況
薩摩硫黄島	2018/9/19	第十管区 海上保安本部	<p>硫黄島港内全域及び港外周辺にかけて茶褐色の変色水域が分布していた（第17図）。</p> <p>磯松埼東部に茶褐色の変色水域が幅約200m、長さ約200mで分布していた（第17図）。</p> <p>稲村岳南東に茶褐色の変色水域が幅約100m、長さ約200mで分布していた（第17図）。</p> <p>東温泉に黄緑色の変色水域が幅約50m、長さ約100mで分布していた（第17図）。</p> <p>天狗鼻東部に黄緑色の変色水域が幅約200m、長さ約200mで分布していた（第17図）。</p> <p>坂本温泉東部に黄緑色の変色水域が幅200m、長さ400mで分布していた（第17図）。</p> <p>硫黄岳南西側山腹からごく弱い白色噴気の放出が認められた（第18図）。</p> <p>硫黄岳の火口から白色噴煙が火口縁上約200mまで上がっていた（第18図）。</p>
口永良部島	2018/7/9	第十管区 海上保安本部	<p>口永良部漁港に黄緑色の変色水域が幅約100m、長さ約250mで分布していた。</p> <p>新岳火口及び新岳火口西側の割れ目から白色の噴気の放出と、高温域が認められた。</p>
口永良部島	2018/8/15	第十管区 海上保安本部	<p>口永良部漁港内全域及び港外約100mに黄緑色の変色水域が分布していた。</p> <p>御島埼周辺に黄緑色の変色水域が幅約100m、長さ約600mで分布していた。</p> <p>平床ノ鼻東部に黄緑色の変色水域が幅約100m、長さ約300mで分布していた。</p> <p>草瀬鼻北東に薄い黄褐色の変色水域が幅約100m、長さ約300mで分布していた。</p> <p>山頂付近は雲のため視認できなかった。</p>
口永良部島	2018/8/16	第十管区 海上保安本部	<p>15日と比べて変色水域の分布は同様であったが、口永良部漁港内は黄褐色～黄緑色の変色水に変化していた（第19、20図）。</p> <p>山頂付近は雲のため視認できなかった。</p>
口永良部島	2018/9/19	第十管区 海上保安本部	<p>口永良部漁港にごく薄い黄緑色の変色水域が幅約200m、長さ約300mで分布していた（第21図）。</p> <p>御島埼北側にごく薄い黄緑色の変色水域が幅約50m、長さ約100m、御島埼の南側にごく薄い黄緑色の変色水域がそれぞれ幅約200m、長さ約200m、幅約100m、長さ約</p>

場 所	年 月 日	調 査 機 関 等	活 動 状 況
			300m で分布していた（第 21 図）。 新岳火口から白色噴煙が火口縁上約 200m まで上がっていた。
口之島	2018/7/9	第十管区 海上保安本部	タナギ山西部の海岸に黄緑色の変色水域が幅約 50～300m、長さ約 400m で分布していた。 鎌倉崎の南部に黄緑色の変色水域が幅約 100m、長さ約 150m で分布していた（第 22 図）。 前岳北北東の海岸に黄緑色の変色水域が幅約 200m、長さ約 200m で分布していた。 山頂付近は雲のため視認できなかった
諏訪瀬島	2018/7/9	第十管区 海上保安本部	作地鼻周辺に緑色の変色水域が幅約 50m、長さ約 500m で分布していた。
上ノ根島	2018/7/9	第十管区 海上保安本部	火口北側に 2017 年 7 月と同様の高温域を認めた。
横当島	2018/7/9	第十管区 海上保安本部	東峰と西峰の接合部の南側付近に緑色の変色水域が幅約 100m、長さ約 100m で分布していた（第 23 図）。 山頂付近は雲で視認できなかった。
硫黄鳥島	2018/7/14	第十一管区 海上保安本部	硫黄岳火口内及びグスク火口北側の火口内壁に白色噴気が認められた（第 24 図）。 硫黄岳火口西から北西にかけての海岸線に黄緑色の変色水域が幅約 100m で分布していた（第 25 図）。 グスク火口東の海岸線に青白色の変色水域が幅約 50m で分布していた（第 26 図）。
開聞岳	2018/7/9	第十管区 海上保安本部	変色水域等の特異事象なし。
中之島	2018/7/9	第十管区 海上保安本部	変色水域等の特異事象なし。山頂部は雲のため視認できなかった。
悪石島	2018/7/9	第十管区 海上保安本部	変色水域等の特異事象なし。
西表島北北東海底火山	2018/8/23	第十一管区 海上保安本部	変色水域等の特異事象なし。
西表島北北東海底火山	2018/9/14	第十一管区 海上保安本部	変色水域等の特異事象なし。
西表島北北東海底火山	2018/10/27	第十一管区 海上保安本部	変色水域等の特異事象なし。



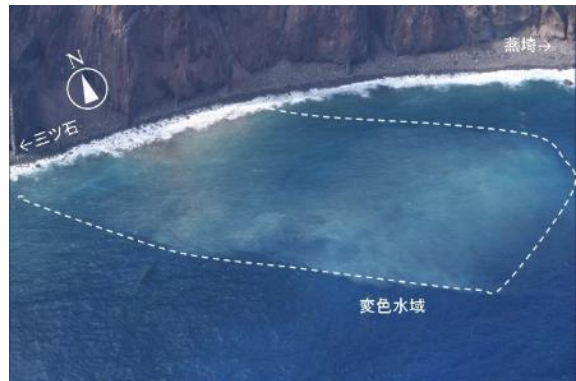
第1図 海域火山位置図

Fig.1. Location map of submarine volcanoes and volcanic islands.



第2図 青ヶ島 神子様付近の変色水域

2018年7月30日 16:15 撮影

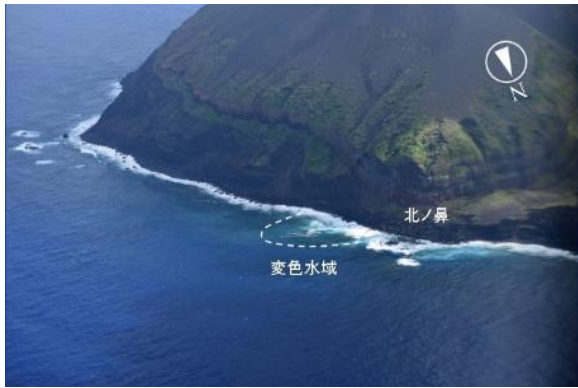


第3図 伊豆鳥島 南岸の変色水域

2018年7月30日 15:30 撮影

Fig.2. Discolored water on the north coast of Aogashima.

Fig.3. Discolored water on the south coast of Izu-Torishima.



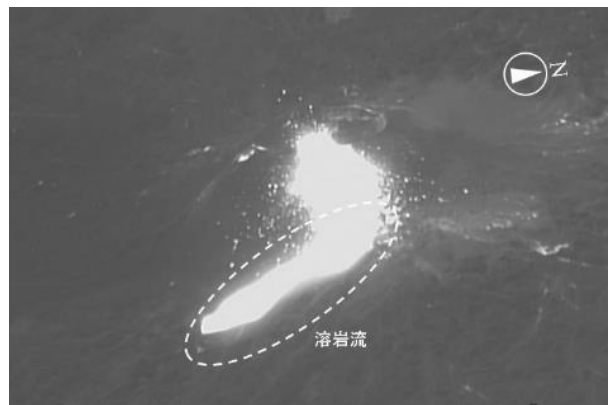
第4図 伊豆鳥島 北ノ鼻付近の変色水域  
2018年7月30日 15:22 撮影  
Fig.4. Discolored water on the northeast coast of Izu-Torishima.



第5図 西之島全景  
2018年7月12日 13:58 撮影  
Fig.5. Discolored water around Nishinoshima Island.



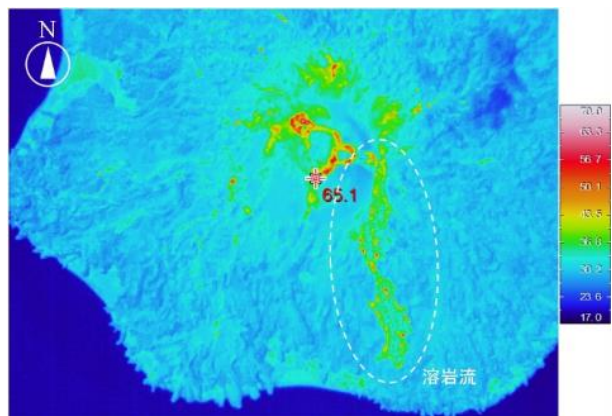
第6図 火砕丘からの噴煙及び山麓の溶岩流  
2018年7月13日 13:44 撮影  
Fig.6. Plume and Lava flow of Nishinoshima.



第7図 西之島 (熱画像)  
2018年7月13日 14:14 撮影  
Fig.7. Infrared image of lava flow.

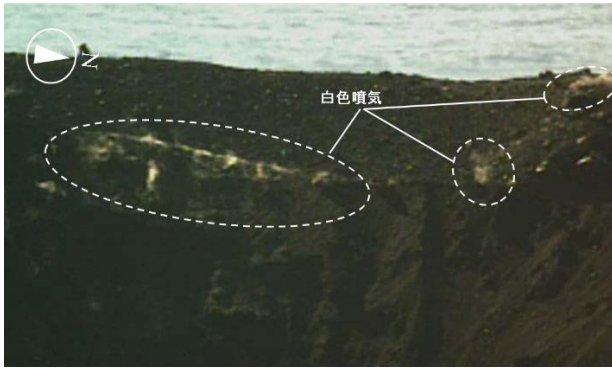


第8図 火砕丘東外斜面の火山ガス  
2018年7月30日 14:23 撮影  
Fig.8. Volcanic gas discharge from the crater.



第9図 西之島 熱画像  
2018年7月30日 13:45 撮影  
Fig.9. Thermal image of Nishinoshima.





第10図 西之島 白色噴気  
2018年10月23日 13:49撮影  
Fig.10. Fumarolic gas discharged from the crater rim.



第11図 西之島 全景  
2018年10月23日 13:29撮影  
Fig.11. Discolored water around Nishinoshima Island.



第12図 硫黄島 釜岩南東  
2018年7月18日 14:31撮影  
Fig.12. Discolored water on the west coast of Ito.



第13図 硫黄島 翁浜の変色水域  
2018年7月18日 14:32撮影  
Fig.13. Discolored water on the south coast of Ito.



第14図 硫黄島 離岩から北ノ鼻の噴気帯  
2018年7月18日 14:34撮影  
Fig.14. Fumarolic area on the north coast of Ito.



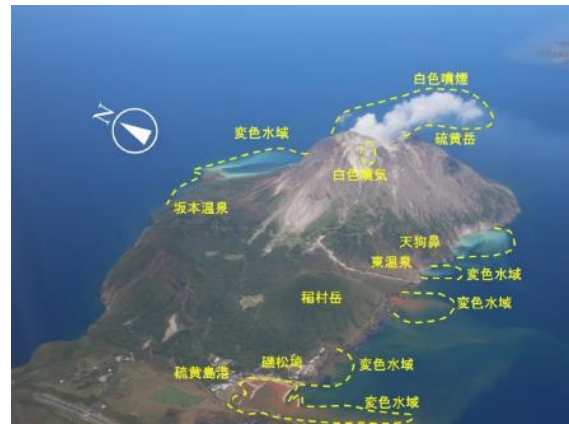
第15図 硫黄島 北ノ鼻周辺の変色水域  
2018年7月18日 14:34撮影  
Fig.15. Discolored water on the north coast of Ito.



第16図 北硫黄島 北東の変色水域

2018年7月18日 14:17撮影

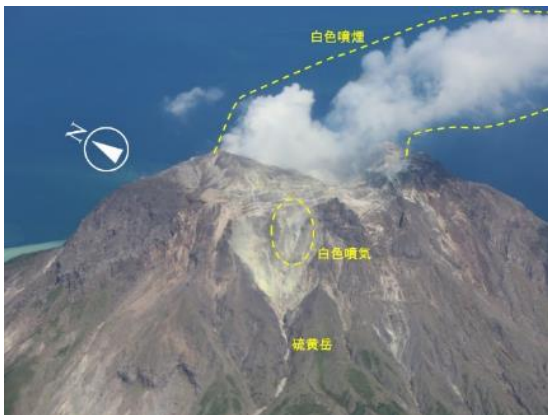
Fig.16. Discolored water on the northeast coast of Kita-Ioto.



第17図 薩摩硫黄島 周辺の変色水域

2018年9月19日 13:48撮影

Fig.17. Discolored water around Satsuma-Iojima.



第18図 薩摩硫黄島 硫黄岳火口の白色噴気

2018年9月19日 13:49撮影

Fig.18. White plume from Iodake crater of Satsuma-Iojima.



第19図 口永良部島 口永良部漁港の変色水域

2018年8月16日 12:00頃撮影

Fig.19. Discolored water in Kuchinoerabu-gyoko.



第20図 口永良部島 古岳東の変色水域

2018年8月16日 12:00頃撮影

Fig.20. Discolored water on the southeast coast of Kuchinoerabujima.



第21図 口永良部島 南西岸の変色水域

2018年9月19日 13:48撮影

Fig.21. Discolored water on the southwest coast of the Kuchinoerabujima



第22図 口之島 鎌倉崎付近の変色水域

2018年7月9日 12:42撮影

Fig22. Discolored water on the southeast coast of Kuchinoshima.



第23図 横当島 西峰と東峰の接合部の変色水域

2018年7月9日 11:52撮影

Fig23. Discolored water of Yokoatejima.



第24図 硫黄鳥島

グスク火口北側内壁の白色噴気

2018年7月14日 11:19撮影

Fig24. Fumarolic gas in Gusuku crater of Iwo-Torishima.



第25図 硫黄鳥島 硫黄岳火口西の変色水域

2018年7月14日 11:15撮影

Fig25. Discolored water on the west coast of Iwo-Torishima



第26図 硫黄鳥島 グスク火口東の変色水域

2018年7月14日 11:19撮影

Fig.26. Discolored water on the east coast of Iwo-Torishima.